

# 東海鉄道OB会報

第3号

平成17年10月



高山本線 飛騨小坂～渚間

## 目次

- 平成十七年度第一回  
東海鉄道OB会総会及び会長表彰式：： 2
- 東海東京地方本部平成十七年度総会  
事務局 水越春彦： 4
- 「東海鉄道OB会」静岡地方本部第一回総会  
静岡地方本部長 小尾嘉俊： 4
- 東海鉄道OB会 名古屋地方本部総会  
名古屋地方本部事務局次長 水谷淳三： 5
- 第一回東海鉄道OB会  
大阪地方本部総会を開催  
東海大阪地方本部 事務局 高森仁司： 5
- 鉄道建設・運輸施設整備支援機構からのお知らせ  
アスベストに関して元国鉄職員の皆様へ： 5
- 会員増強にいま藤枝支部は  
藤枝支部長 清水清策： 6
- 気持ち良く利用を太多線 姫駅を美しく  
陶都支部 桜木 隆： 6
- 「カラオケファンの集い」  
●千種名東支部と守山支部の合同開催： 7
- 「二〇〇五富士山クリーン作戦に参加して」  
御殿場支部 熊谷 仁： 7
- JR東海トピックス： 8
- グループインフォメーション： 11
- 読者のひろば： 13
- 駅探訪／「会報への寄稿、  
文芸欄への投稿」要領／編集後記： 16



**平成十七年度第一回  
東海鉄道OB会総会及び会長表彰式**

東海鉄道OB会発足後の平成十七年度第一回総会及び会長表彰式を、九月十二日、ホテルアソシア名古屋ターミナルで開催しました。

本年四月一日に東海鉄道OB会が発足し、本来は年度始めに開催すべき東海鉄道OB会全体の総会を、本年度に限り、四月以降各支部及び各地方本部の定例総会等の終了を待って開催することにし、併せて会長表彰式も開催しました。

総会及び会長表彰式には、ご来賓としてJR東海から石塚代表取締役副社長様、金子取締役総務部長様、小出総務課長様のご出席を賜り、本部からは会長、各副会長（各地方本部長）、専務理事、会計監査員、事務局長、各地方本部事務局及び各地方本部の代議員十五名が出席して総会を開催しました。

年度 東海鉄道OB会総会・会



なお、八月九日付で就任した会計監査員中川博行、高松靖弘両氏を紹介しました。

総会は、まず堀内会長から本年度の総会開催についての経緯と所信表明の挨拶があり、続いてJR東海石塚代表取締役副社長様からJR東海の現況と励ましのお言葉を頂いた後、総会の議事に入り「平成十七年度の本部基本方針案、平成十七年度本部予算案」について審議したところ、本部提案の原案を満場一致で承認され総会を終了しました。

**平成十七年度の本部基本方針**

- 東海鉄道OB会の基礎確立と組織の充実
- 会員相互の親睦、特に支部活動の活性化
- 会員増強運動の積極推進
- 東海旅客鉄道株式会社及び関連グループの事業への協力、特に増収協力活動の推進
- 東海鉄道OB会報の充実



引き続き東海鉄道OB会初めての会長表彰式を開催し、東海鉄道OB会に顕著な貢献をされた一団体と個人三十八名の方々に会長より表彰状と副賞が授与されました。

平成17年度 東海鉄道OB会



平成17年度 東海鉄道OB会総会・会長表彰式



# 平成17年度 東海鉄道OB会総会・会



会長表彰者は次のとおり。(以下、敬称略)

## 一 特別功労章

特別功労章は、OB会の運営、発展に特に抜群の功績があり、他の会員が等しく認めている者に対して、特別功労章を贈り顕彰する最高の荣誉で本年度は次の四氏です。



静岡地方本部  
三島支部 宮田 勝



静岡地方本部  
豊橋支部 堤 継良



名古屋地方本部  
岐阜事務局支部 野村 清



名古屋地方本部  
三河支部 鷲尾 孝一

## 二 会員増強表彰

東海鉄道OB会の組織強化のため会員増強運動を積極的に実施し、その功績が顕著な団体又は個人に贈られる荣誉です。

### 【団体】

静岡地方本部 身延支部

### 【個人】

名古屋地方本部 名古屋機関区支部 竹内 孝

## 三 増収協力表彰

東海旅客鉄道株式会社及び関連グループの営業活動に協力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈られる荣誉です。

### 【個人】

名古屋地方本部 松阪支部 岡村 幸雄

## 四 清掃美化等表彰

東海旅客鉄道株式会社及び関連グループ等の清掃美化等に協力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈られる荣誉です。

### 【個人】

名古屋地方本部 西濃支部 立木 政一

## 五 福祉関係表彰

会員に対する福祉活動又は地域の社会福祉に貢献して、その功績が顕著な者で、OB会としても顕彰する必要がある場合に贈られる荣誉です。

## 六 役員功労表彰

永年OB会の役員として、それぞれの組織の発展に功労があった者に対し、その功績に贈られる荣誉です。

### 〈東海東京地方本部〉

事務局 青柳 貞夫

### 〈静岡地方本部〉

- 磐田支部 持田 光男 / 藤枝支部 塚崎 郡一
- 菊川支部 飯塚 純 / 飯田支部 太田 忠雄
- 浜松支部 岡田 裕 / 沼津支部 瀧澤 吉三
- 遠州北支部 太田 照雄 / 三島支部 鈴木 義一
- 豊橋支部 内山政佐久 / 裾野支部 柏木 輝雄
- 焼津支部 寺田 幸夫 / 原支部 平野 章

### 〈名古屋地方本部〉

- 蟹江支部 加藤 賢二 / 滋賀支部 若林富士男
- 弥富支部 伊藤 英昭 / 尾北支部 中村 裕充
- 高山支部 大坪 義一 / 美濃太田支部 野口登美王
- 三河支部 玉腰 公照 / 半田支部 斉藤 賢一
- 千種名東支部 松下 昭次 / 笠寺支部 近藤 廣二
- 名瀬豊原支部 大橋 昭典 / 稲機支部 小川 秀雄
- 陶都支部 東 乃木男 / 中津川支部 濱島 十郎
- 四日市支部 鈴木 悦郎 / 伊勢支部 中澤 弘

### 〈東海大阪地方本部〉

運輸営業支部 前澤満洲男

総会及び会長表彰式の終了後、ご来賓、本部及び総会代議員等と表彰者全員で昼食懇談会に移り、先ずご来賓のJ.R東海の金子取締役総務部長様の乾杯の音頭で始まり、一同和気藹々と懇談を行いました。



### 東海東京地方本部平成十七年度総会

東海東京地方本部 事務局 水越春彦



平成十七年七月二十二日、東海東京地方本部平成十七年度総会を東京駅前の八重洲ホールにおいて、会員六〇名が参加して開催した。

方本部長から「万博等で忙しい中、多数ご参加いただきまして有難うございます。今日は、新しい東海鉄道OB会が発足して最初の総会であり、実質的には第一回の総会と言えると思います。

四月六日に名古屋でJR東海の松本社長他幹部の方々にご臨席いただいて東海鉄道OB会の発足セレモニーが盛大に開かれ、東京、静岡、名古屋、大阪の四地区で活発に活動していこうと誓いあいました。その証しが会報で、内容の濃い充実した内容となっております、またもって活動していくという意味が凝縮されているという感じがします。皆様からはぜひ会報へ投稿をしていただき、自身の濃い会報にしていきたいと思います。

東海東京地方本部が発足したのは、平成十三年九月で、当時の会員数は百四十九名で、現在二百三十二名です。で、百名近く会員数が増えています。この間における会員の皆様の会員増強へのご努力に厚く敬意を表するとともに、今後とも会員をいかにして増やしていくかということにそれぞれの立場でご尽力いただきたいと思います。また、私どもの地方本部は系統別に組織されており、それぞれの系統別で行事等を企画していただいで会員相互の親睦を図っていただきたいと思います。今後、皆様とともにさらに充実したOB会にしてい

たいと思います。」との挨拶がありました。そのあと議事に入り、青柳事務局長より平成十六年度の事業報告、会計報告、平成十七年度活動方針等について報告があり、各議案について出席者全員の拍手をもって承認されました。

総会後、JR東海新幹線鉄道事業本部の建守本部長をはじめ各部長をご来賓としてお招きして、懇親会を開催しました。

懇親会では、建守本部長から「新幹線の現況は好調で、これは関連会社皆様の支え、協力等で総合力としての輸送が成り立っているということであり、この場を借りて厚く御礼申しあげたいと思います。今後我々は、万博が終わったあと、航空機との競争をどうするか、全体の輸送需要の伸びがほとんど見込めないなかで、できることはすべてやろうと頑張っております。新幹線は、車内のサービス、清掃の問題、軌道の整備を含めて正確で安全に運行することが一番のサービスであり、それにプラスしてソフト、ハードの問題を解決、前進させていくということになります。そういう意味でみなさんの協力を得ながら総合力としてのサービスの向上に努めてまいりたいと思いますので、いろいろな形で協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。」との挨拶がありました。

続いて、石津副本部長に乾杯のご発声を頂き、和やかに歓談が行われ盛會裡に総会並びに懇親会を終了しました。

### 「東海鉄道OB会」静岡地方本部 第一回総会

静岡地方本部長 小尾嘉俊

七月二十八日(木)東海鉄道OB会静岡地方本部総会が静岡駅南口東海軒会館において二十六支部長、事務局長等五十四名の出席を得て開催された。

まず物故会員の冥福祈念。続いて地方本部長から「東海鉄道OB会」が発足して四ヶ月が経過したが、本年度はOB会の基盤づくりの年として組織拡大を主要課題にし、触れ合いを通して懇親の場を設け情報交換や知識を広める活動をして頂きたいと挨拶した。

そして、今回は新組織移行後の最初の総会ということ、JR東海静岡支社長、国会議員にも招待したが、支社長は夏季安全安定輸送の拡大部長会議が、また国会議員は郵政民営化法案審議で出席できないということで、それぞれメッセージが寄せられた。

最初に支社長の代理として出席された山田経理課長からメッセージを披露、概略は、

① JR東海の経営は順調で品川駅開業に伴う抜本的ダイヤ改正により平成十七年三学期の期末決算は経常利益は過去最高となった。

② 鉄道輸送の使命は安全安定輸送の確保である。特に今年度は最重要課題として「絶対の安全」を掲げ静岡支社を挙げて取り組んでいく。

また、中島啓雄参議院議員は環境とエネルギーに優しい公共交通の整備と安心できる社会保障制度の確立、鉄道年金の維持などOBの皆様に役立つよう取り組んでいく。

更に坂本由紀子参議院議員(静岡県選出)は公的年金等の環境は変化しているが、地域と密着した行動を行い会員が安心して生活ができるよう努力すると励ましの言葉があった。

その後、三島支部長大川氏を議長に選出。議事に入り、平成十六年度事業報告、決算及び監査報告があり、平成十七年度の運動方針、予算について審議され、満場一致拍手をもって承認。一時間五十分を亘って議論された総会を終了。昼食会に入り十三時十分散会した。

【主な質疑・回答はつぎのとおり】

Q OB会長からの一般会員に対する用電は？

A 現職地方本部長、支部長には会長が、一般会員には地方本部長又は支部長が用電を。



Q 死亡叙勲申請に添付する死亡診断書は、病院で一通しか発行しない。如何すれば？

A 本通となっているが、病院で写しに原本証明をお願いして欲しい。

Q 会員増強のため、新規加入の要請を地本で出しているというが？

A 地本から未加入者に対し、二年前まで遡り、四月会報創刊号(写)を添付して要請した。

Q 長寿社会となっている。喜寿のお祝いはやめてもよいのでは？

A 一般的には、喜寿のお祝いにはしている。OB会として今後も継続したい。

Q 東海鉄道OB会報が遅い。

A 七月号は遅くなり本部も迷惑をかけたと言っている。地本としても本部へ要望する。

### 東海鉄道OB会

### 名古屋地方本部総会

名古屋地方本部事務局次長 水谷淳三

八月五日(金)十一時三十分から、平成十七年度東海鉄道OB会名古屋地方本部総会を、名古屋市内愛知厚生年金会館内会議室で、地方本部全役員(地方本部長及び全支部長、約五十名)が出席して開催した。

総会(役員会)は、昨年度の三七三名の物故会員に対する冥福祈念に始まり、本年四月一日の組織改編に伴う異動で、これまで二十有余年地方本部長として、ご活躍いただいた堀内地方本部長が、東海鉄道OB会の会長職に就かれたため、新たに迎えた平井新地方本部長から①新組織発足には、東海鉄道OB会運営基盤確立のための関連企業の法人会員加入を始め、JR東海の強力な後押しがあったこと②東海鉄道OB会となって、独自の会報発行に踏み切ったこと③組織の拡大強化には、会員の増強が是非とも必要であること等を内容とした挨拶をいただいた後、地方本部役職員の異動内容を説明のうえ、新任支部長六名を紹介し、昼食を挟んで午後の議事に進んだ。

まず、加藤事務局長から、平成十六年度事業報告と収支決算表の説明と、これを受けて川本会計監査員から監



査報告をいただき、質疑のちこれを承認、続いて、平成十七年度予算(案)の説明があったが、事務局長として「いずれにしても厳しい運営をして行く必要がある、節減を大前提にして業務運営をしていきたい」を付け加え、質疑があつて、これも承認された。

続いて、各種表彰について推薦手続等を項目別に説明するとともに、今回、新たに地方本部長表彰制度を新設したことを付け加えた。

次に、JRグループに対する増収協力活動の一環として、本年が二十五回目となるJRバス五両による地方本部主催団体旅行の再度の趣旨説明と、参加者名簿提出など、各種連絡事項を説明するとともに指示し、十四時近く終了、散会した。

### 第一回東海鉄道OB会

### 大阪地方本部総会を開催

東海大阪地方本部 事務局 高森仁司

旅客鉄道株式会社毎に新しくOB会が誕生し「東海鉄道OB会」の地方組織として「東海鉄道OB会大阪地方本部」が平成十七年四月一日に発足しました。

この度、平成十七年七月六日(水)に「東海鉄道OB会大阪地方本部第一回総会」がニューオオサカホテル「淀の間」において盛大に開催されました。

吉村事務局長の開会のことばに続き、片山地方本部長から「東海鉄道OB会発足の経緯と組織を拡大して交流と親睦を図ろう!」との挨拶がありました。

事務局長の司会で議事が進行され、十六年度活動報告と収支決算報告並びに十七年度活動方針案が提案され、今年度の重点目標として「組織拡大とレクリエーション実施の取組み」等、多くの会員の皆さんから活発な意見が出されました。

また、十七年度予算案、役員改選等につきましても満場一致で可決され、活況のうちに総会はお開きとなりま



した。  
総会終了後、引続き懇親会が行われ、堀内東海鉄道OB会会長をはじめ、東海旅客鉄道株式会社の金子取締役総務部長、杉本執行役員関西支社長、関西支社幹部、法人会員の代表等多くの方々に来賓として参加して頂き成功裡のうちに総会・懇親会を終了いたしました。

### 鉄道建設・運輸施設整備支援機構からのお知らせ

鉄道・運輸機構は、日本国有鉄道清算事業団から日本鉄道建設公団を経て、日本国有鉄道の権利義務を承継している組織です。

昨今、大きな社会問題となっているアスベスト(石綿)に関しましては、かつての国鉄工場・機関区・電車区・気動車区・客貨車区・自動車営業所・船舶関連職場等において、機関車、鉄道車両、自動車、船舶を検査、点検、修理又は解体する業務を行った際にアスベスト曝露の可能性があったことをお知らせいたします。

国鉄業務に起因し発症したアスベスト被災に関しましては、当機構がその業務災害補償業務を行っております。

詳細につきましては、ホームページ  
(<http://www.jinsh.gr.jp>)を参照してください。

(本件に関するお問合せ先)

〒105-8434 東京都港区西新橋2丁目8番6号  
(住友不動産日比谷ビル)

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
国鉄清算事業本部 管理部職員課

電話 0335062327

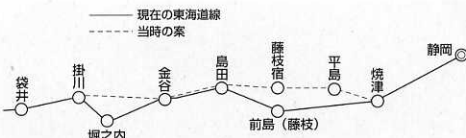
メールアドレス [shokun@jinsh.gr.jp](mailto:shokun@jinsh.gr.jp)



# 会員増強にいま藤枝支部は

藤枝支部長 清水清策

藤枝市は一九五四年（昭和二十九年）旧藤枝町、青島町ほか四村が合併し市制を敷かれた。一方藤枝駅は一八八九年



（明治二十二年）四月営業を開始したが、ルート設定までには多くの住民から「汽車の煙から火災が起こる。駅が出来たら旅行者は素通りして町がさびれる」等強い反対意見が出た為、当初案から南に二キロの青島地区を通すことになり、駅の設置も決まった。この為藤枝市は、駅前地区と旧東海道宿場町の二箇所商店街が軒を連ねている。県都静岡へは電車で二十分、ダイヤは七分から十分ヘッドとなり完全に静岡のベットタウンとなった。現在人口は十三万一千余、因みに市制施行当時は五万七千人とある。

藤枝支部OB会員は昭和四十九年六月発足当時八十九名であったものが今日では四三〇名を越し静岡地方本部管内一位の座を占めている。その内JR退職者は三五パーセント、静岡地方本部の話ではJR退職者の入会率は平均二十パーセントとこれを大きく上廻っている。会員の変動は激しく毎年十数人の方が不幸にも故人となられ加えてJR退職者が少ない、こうした現状の中にあつて会員数を堅持することは容易でない。未加入者を聞き出しては入会を勧める。その都度地区の責任者である幹事さんにもご足労願う。JRからの退職者については、毎月地方本部から名簿を送って貰いこれに基づき、地域毎、系統毎に分け会員の中に面識のある人はいないか、先ず聞き出しその知人から電話をして貰う。更に、地区幹事が直接会って加入を勧める、支部長から会の概要等説明した挨拶状を送って理解をして貰ったうえで入会を勧める。中には、OB会は特定グループの会と誤解され入会をためらっていた人もいる。

最近では関連企業を通じて勧誘して頂いており地本の努力と併せ感謝している。何れにしろ、本家の支部が本

腰を入れ足を惜しまず本人に会い話すことが大切である。去る七月二十八日静岡地方本部総会が開催されその席上、小尾本部長の挨拶の中で今年には「東海鉄道OB会」の基礎づくりの年として会員の増加を最重要課題とすると強調された。藤枝支部はこの趣旨に添いJR退職者を一人でも多く入会するよう焦点を絞り活動方針として行動している。

会の活動は、福祉と親睦を重点にし、グラウンドゴルフクラブは隣接焼津支部と年二回春秋親善試合も行っている。また囲碁クラブ、盆栽クラブ、歩く会、更に婦人部の手工芸学習等、この外駅清掃作業（現在駅舎工事の為に中止）や年一回会員親睦旅行（JR増収協力）も毎年行っている。歩く会は一般市民も参加し会員二二〇名、こうした諸活動が永年続けられており地道な活動が評価され平成四年、十六年の二回支部総会の席上で市長来臨のうえ「市民の健康管理普及と明るい地域社会の実現に活躍している」と感謝状が授与され会員一同士気が大いに揚がった。このように折りにふれ親睦の場を設け活動し情報や知識を広め、脳の活性化にもなり生き甲斐にも通ずるのではないかと考えている。退職した私共にも出来ることは極く限られたことしか出来ないが少しでもOB会で現職のJR社員が市民から愛されるよう、そして後に続くJR退職者が喜んで入会してくれる組織になればと考えて活動している。

平成十七年八月一日老朽化した旧橋上駅舎の一部を残し姿を消し十三万都市の玄関口にふさわしい近代設備の立派な橋上駅がテープカットされた。（完成は十八年末）  
思えば明治初年この地に鉄道を誘致し駅を設けよと、自己の膨大な田地畑を国に提供し、鉄道こそ未来文明開化の先導者と多くの反対者を説得し誘致に身を賭した偉人、青地雄太郎氏の偉業を称え、駅前北口広場に胸像が建ち駅を見守ってくれている。私共は青地さんの志を継ぎ鉄道人として社会貢献を後世に引き継いでいかなければならない。

## 祝 藤枝駅南北自由通路開通式



市民から愛されるJRは延いてはOB会の私共にも流れくるものと思われる。

会員四三〇名一堂に会することは困難であるが一月新年会、六月の年次支部総会には必ず四十〜五十名の会員が出席して下さり共にしばらく振りに出会う旧友知人と健康を喜び合う姿はこの会ならではの感激一入である。更に婦人部の方達も毎回二十名前後出席してくれている。新年会では会長からの長寿者賀詞贈呈を行い会員全員でお祝いしており、記念写真は大変喜んでくれている。

以上拙文のうえに手前味噌の中味であつたがいづれにしても当藤枝支部が今日のような立派な体制になり得たのも偏に先人、先達をはじめ、歴代の支部長、三役、地区幹事そして会員一人ひとりが一つ心になつて作り上げた組織である。この宝の組織をより立派により誇りある会となるよう力を合わせ同じ釜の飯を食べた者同士だから、阿吽の呼吸で前進して行かなければならないと強く責任を感じている。



## 気持ち良く利用を

## 太多線 姫駅を美しく

陶都支部 桜木 隆

六月十九日、陶都支部姫地区OB会は、太多線姫駅（無人）の清掃のボランティア活動で、ひと汗を流しました。

同駅の駅勢圏は、姫地区五町、約二千世帯、五千五百人の表玄関として、昭和三年十月一日開業、四十七年五月十日無人駅となりました。現在は一日約千三百人のお客様が乗り降りしています。

無人駅となったあと、植木の枝は伸び、夏草におおわれる駅になったのを見兼ねて、「お客さんに少しでも気持ちよく利用してもらおう」とOB会員が立ち上がり、毎年六月に活動して今に至っています。

この日は、幸い、梅雨の谷間で心配した雨も降らず、早朝、涼しいうちに姫地区のOB会員に支部役員が応援に駆けつけ、除草機や刈り込み鋏を持って集まり、広場、ホームの植木など、職人顔負けの腕前を發揮して剪定を



したり、また、背たけほど伸びた土手の「セイタカアワダチソウ」などを除草機で刈り取りました。日曜日とあって多治見、美濃太田方面に出かける顔見知りのお客様も多く、「ご苦労様、いつもきれいにしてもらってありがとうございます」と感謝の声をかけられる中、暑さを忘れてど

んとん作業が進みました。終わって、待合室で休憩している会員に、乗車待ちのお客さんから「日ごろは駅前の方にも駅の清掃美化に尽くしてもらい感謝しています」など地元の話にふれ、三十数年前は「駅長、駅員は誰だったかな」など、振り返り懐かしい思い出に花が咲きました。OB会員は、ひととき温かい過去を思い出す会話に疲れを忘れ、「きれいになった駅を少しでも気持ちよく利用していただくことのお役に立てれば」と喜び、会員の高齢化が進む中「共通の話題で、力を合わせて過ごせることが何より幸せだ」と誰いうとなしに出た言葉を最後に、「次も元気で頑張ろう」と約束して散会しました。心暖まる一日でした。

## 「カラオケファンの集い」

### ●千種名東支部と守山支部の合同開催

千種名東支部と守山支部は、名古屋市の東北部に位置し千種区、名東区、守山区、日進市、長久手町とかなり広範囲ながら隣同士で、以前から仲良くして、共に支部

のレクリエーション活動が活発で、ハイキング、旅行などを共催していました。また近年支部相互間の役員会を対象に、交流親睦会も行い好評でした。

今回さらに一部のカラオケファンから「カラオケの集い」を今までそれぞれの支部単独で実施していましたが、「両支部合同でやりましょう。」と機運が高まり、早速市内東区の某カラオケクラブと交渉して、八月三十日午後昼間貸切で延べ六時間にわたり、カラオケを中心とした懇親会を開催しました。

同好有志十五名の歌手？に加え二名の女性ゲストの参加もあって、演歌（ナツメロ、新曲）からフォーク、シヤンソンなど幅広いレパートリーが披露され、平均年齢七十歳以上とは思えない雰囲気、賑やかで楽しく活気あるひとときを過ごしました。

参加者からは「ひさしぶりに大きな声を出した。気分がスカッとした。」などの大きな反響がありました。なお、新人歌手をスカウトしていますので、連絡をお待ちしています。（低料金の会費で行っています）

発声は健康管理の一環としまして、今後も共催で続けることを申し合わせしました。なお、千種名東支部恒例の「第二十五回目の麻雀大会」は、九月十七日に盛大に開催し、頭脳と指先の活性化運動を行ったことをご報告します。（内容は、第2号で紹介のとおり）



## 「1100富士山クリーン作戦」に参加して

御殿場支部 熊谷 仁（七十四才）

富士山夏山の登山期は七月一日～八月三十一日で、間もなく迎えようとしている閉山日を前に、富士山麓（静

岡県側）五市町で作る「富士山を何時までも美しくする会」などが、それぞれ各登山口で一斉清掃を実施し、八月二十一日は御殿場口と須走口（静岡県小山町）で行われ、場所が場所だけに天候が心配されたが当日は絶好の清掃日和となった。東海鉄道OB会御殿場支部は、平成十三年より参加し本年に至っている。今年も二十七名の会員が市役所前に集合、送迎バスにて八時四十分御殿場口新五合目第一駐車場を目指し出発した。約五十分で標高千四百メートルの現地に到着、参加した四十五団体千三百五十名全員の到着を待って開会式となった。このような企画に参画することは、誠に有意義でOB会活動が地域に密着した奉仕活動の一環であり、鉄道OB会組織をアピールする絶好の場でもある。

いよいよセレモニーの開始、市長挨拶富士山憲章全員で唱和し参加団体の紹介及び各連絡事項と進み、十時作業開始。それぞれが各作業担当地域に散った。わが支部は六合目茶屋上付近の海拔千五百メートルから下へ燃えるゴミ用と燃えないゴミ用の袋を二つ持って、作業開始。十一時三十分作業終了後、楽しみにしていた昼食の結び弁当（ごみの出ないように気を遣った）を広げ、普段はなかなか顔を合わせる機会のない参加者全員でOB会活動による会員相互の親睦を築いた。新聞の報道によるとごみの量は減少傾向で地元の地道な活動が登山客のマナー向上に成果があるとしている。食後の後片付けには特に気を遣い、ごみはすべて家に持ち帰る原則に従い、チリ一つ残さず綺麗にしてバスに分乗し帰路についた。我々御殿場支部会員は朝（あした）に夕（ゆうべ）に聳え立つ富士山を仰ぎ、その足元に暮らしている幸せが又、来年参加する事を胸に誓い家路を急いだ。





# JR東海ト

# ピックス

事業推進本部

さらなる利便性向上を

## JR東海新横浜駅ビル(仮称) 起工式

7月8日、新横浜駅改良工事並びにJR東海新横浜駅ビル(仮称)新設工事の起工式を松本社長、横浜市長はじめ多くの方の参列のもと行い、平成20年の完成に向けていよいよ工事に着手しました。

新幹線・在来線・市営地下鉄が交差する新横浜駅は、「のぞみ」停車数の増加もあり、年々乗客数を増やしています。今回の駅改良・駅ビル新設工事は、駅利用者数の増加や急速に進む周辺地区の都市化に対応すべく、当社と横浜市が共同でまとめた新横浜駅北口周辺地区の再整備計画に基づくものです。

駅改良では、駅東京方にホーム階段や改札口を増設するなど、お客さまの利便

性を大きく向上させます。また、駅ビルは話題性の高い商業施設、充実のIT対応設備を備えたオフィス、快適な客室空間を持つホテルを備えるなど駅利用者や周辺居住者の皆さまにとって利便性の高い複合施設です。完成後は、「新横浜都心」の新たなランドマークとして、今後さらなる発展が期待される新横浜の街・駅にふさわしい賑わいと活力を創造していきます。

関西支社

平成19年度の完成を目指し

## 京都駅リニューアル

京都駅では昨今のお客さまの流動・ニーズの変化に合わせ、利用実態に即した利便性の高いレイアウトに再配置します。JR発足以降、平成11年に新幹線2階改札内コンコースを、平成13年には1階のレストラン街をそれぞれリニューアルするなどお客さまがご利用しやすいよう設備改良を重ねてきました。

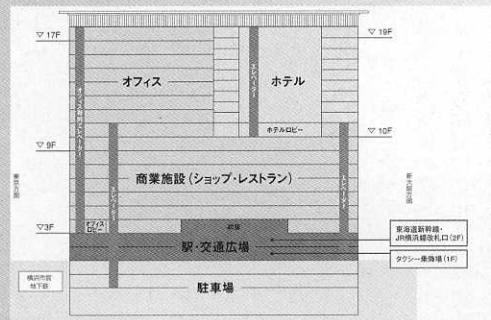
柱の耐震補強も踏まえ、平成19年度の完成を目指し工事を進めていきます。リニューアルでより快適に安心してご利用いただける駅に進化します。



▲起工式で挨拶する松本社長



◀JR東海新横浜駅ビル(仮称)イメージ



▲JR東海新横浜駅ビル(仮称)断面図

今回の駅設備改良で、改札・きっぷ売り場は、お待たせしない販売体制に整備するとともに大型文字化した電照式の案内サイン(通称・ウェルカムゲート)を設置してお客さまをお迎えします。また、地下鉄等からのアクセスを向上させるため、八条東口に新幹線改札口を新設します。コンコース内の設備では、39席から約100席に待合室を大幅に拡大するとともに椅子レイアウトの見直しやモバイルコーナー設置など、機能を充実させます。併せて、身障者対応型エレベーターの設置や高架橋



▲中央改札口イメージ

▼八条東乗換口：待合室イメージ





### ◆ JR東海トピックス ◆

事業推進本部

## 豊富なバリエーションを取り揃え

# 「セントラルガーデン・レジデンス」 概要決定

平成19年春、高見（名古屋）社宅跡地に「ナゴヤセントラルガーデン」が誕生します。本開発は、広場、並木道等緑豊かな環境に、分譲マンションと商業店舗が建ち並ぶ、魅力ある「街づくり」を目指しています。

また、全戸南向き、2戸1エレベーターによる全戸両面バルコニー、免震構造、オール地下駐車場、ICカード錠システム、24時間有人管理等、高品質でセキュリティの高い仕様です。  
今秋から販売開始を予定しており、完成引渡しは平成19年春の予定です。現在「セントラルガーデンクラブ」の会員を募集中です。ぜひご入会ください（入会費・年会費無料）。

このたび、分譲マンション（I期）の概要が決まりました。名称は、「セントラルガーデン・レジデンス」、事業主体はジェイアール東海不動産並びに三菱地所㈱・三菱商事㈱で、総戸数226戸、2LDK〜4LDKまでの豊富なバリエーションを取り揃えています。



▲「ナゴヤ セントラルガーデン」完成イメージ

●マンション情報等最新情報をいち早くお知らせする「セントラルガーデンクラブ」への入会方法  
「セントラルガーデンクラブ」ホームページからご入会ください。 ホームページ <http://www.ncg.jp>

●「セントラルガーデンクラブ」事務局  
お問い合わせ ☎0120-936-296

JR東海総合病院

## 検診の質・サービスに高い評価

# 「人間ドック・健診施設機能評価」取得

JR東海総合病院の人間ドックセンターが3月26日付で、日本人間ドック学会が実施する「人間ドック・健診施設機能評価」の認定を取得しました。

「人間ドック・健診施設機能評価」は、人間ドックの質の確保や受診者の満足・安心など185の項目について第三者の立場から評価を行い、一定の水準に達した施設を認定するものです。

当院は2月25日に日本人間ドック学会所属の医師である調査員（サーベイヤー）2名の訪問審査を受け、当院の医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師及び事務部門から受診者への対応やマニュアルの整備状況等について説明を行った後、現地調査が行われました。調査員からは、当ドックセンターが調査項目全般にわたって適切な

状況にあり、特に受診者に対する配慮や職員の接遇等については高いレベルにあるとの評価をいただき、日本人間ドック学会の機能評価委員会で認定を受けたものです。同評価の認定取得は全国で30番目、名古屋市内の施設では初の取得となりました。

JR東海総合病院の人間ドックセンターでは、今後とも検診の質・サービスの向上に努め、受診される方に満足していただける人間ドックを実施してまいります。



▲人間ドックセンターのスタッフ



▶「人間ドック・健診施設機能評価」認定証

### ◆ JR東海トピックス ◆

安全対策部

# 「よい子はせんろに入らない」

## 平成17年度鉄道妨害防止運動

7月1日から7月15日にかけて、「よい子はせんろに入らない」をキャッチフレーズとした鉄道妨害防止運動を実施しました。この運動は、夏休みに入る前に、子供達が線路に入ったり、踏切内でいたずらをしないように呼びかけるとともに、踏切での安全通行を訴えることを目的としています。

今年も、駅・車内での鉄道妨害防止の啓発放送や、主要駅、交通量の多い踏切において警察機関の協力も得て、キャッチフレーズである「よい子はせんろに入らない」をデザインしたノートを配布し、線路内への立入りやいたずら防止を広くPRしました。

その他にも、沿線の小学校を訪問し、校内放送などをお借りして、運動に対する理解と協力をお願いしました。社員の皆さんも、「線路には入らない」「踏切は左右をしっかり確認してから渡る」警報機が

鳴ったら渡らない」の3つを子供達にぜひ教えてあげてください。また、線路や踏切で遊んでいる子供を見かけたときは、すぐに注意してあげてください。

最近、踏切事故減少傾向にはあるものの、依然として無理な横断による踏切事故が発生しております。皆さんも自動車を運転されるときは、必ず踏切で一旦停止、安全確認を行ってください。

社員・ご家族、皆さんのご協力をお願いします。



▲静岡駅での梅本静岡支社長



▲飯田線・大宮踏切（飯田～桜町間）での小森飯田支店長



▲名古屋駅での山守名古屋駅長



▲津駅での佐竹三重支店長

静岡支社

# 一層のサービス向上を図る

## 静岡地区の自動改札機整備

平成3年度より在来線主要駅に順次、自動改札機を整備してきましたが、この度、静岡県内の東海道本線全駅（函南～新所原間39駅）にある全ての改札口に自動改札機を整備することとしました。

4月25日、清水駅～新所原駅間への設置が完了し、使用開始となりました。今秋には函南駅～興津駅間に整備範囲を拡大する計画であり、名古屋地区での整備と合わせて、自動改札機設置エリアが函南駅～関ヶ原駅ま

でつながらることになります。

今回高塚駅他16駅には、新たに開発した扉のないタイプの自動改札機を導入しました。また、自動改札機の整備に合わせ、自動改札機にて入場・出場の際、正しいきっぷであるかを判別する機能を追加しました。

お客さまには、きっぷを正しく目的の地までお買い求めいただくとともに、自動改札機のご利用を促進し、一層のサービス向上を図っていきます。



▶整備が進む自動改札機（扉があるタイプ）



▲新たに開発した自動改札機（扉がないタイプ）



# グループインフォメーション

## 充実した駅構内の店舗を運営 ジェイアール東海 関西開発(株)

当社は、新幹線京都駅構内において直営店舗並びに「京都八条ASTYROAD」レストラン街の運営、新幹線新大阪駅構内の直営店舗等の運営、及び米原～新大阪間の新幹線高架下等の不動産・駐車場の賃貸業務を行っています。

新幹線京都駅構内では、新幹線ご利用の際に手軽に京都老舗の品々をお買い求めいただけるよう「特選街」「嵯峨野」「京老舗の味 舞妓」にて数多くの名品を取り揃えております。京都観光の際には新幹線京都駅改札内にて少し足を止めていただき、京都ならではの名産品選びをお楽しみください。飲食店舗も充実しておりますので、ご休憩・お食事にご利用いただければと思います。



▲京都名産品が揃う「ASTY京都」



▲新大阪駅リニューアルで開業した飲食店街

また、3月25日に新幹線新大阪駅構内がリニューアルし、既存の喫茶店に加え、驛麵通り、ベーカリーカフェ、定食、カレー、ジューススタンドの5店舗が開業しました。新大阪駅へお越しの際にはどうぞお立ち寄りください。

京都駅・新大阪駅で皆さまのお越しを心よりお待ちしております。  
【ホームページ <http://www.asty-kyoto.co.jp/>】

## 安全運航による無事故飛行を継続更新中 ファーストエアー トランスポート(株)

当社はJR東海が所有するヘリコプター3機を運航している会社です。川崎式BK117(2機)、シコルスキー式S76(1機)で安全運航を第一に掲げ、会社設立以来無事故飛行1万7,413時間(平成17年6月30日現在)を現在も継続更新中です。

主な業務は、JR東海の安全・安定輸送支援のための線路及び架線の巡視、調査、撮影飛行等です。主な基地は栃木ヘリポートと津ヘリポートの2箇所です。パイロット5名、整備士9名が1年365日頑張っております。営業施策としては、高性能のデジタル機器を使用した線路、送電線及び構造物の高画質デジタル写真の提供など、質の高いサービスをJR東海に提供しています。



▲送電線点検



▲新幹線の線路・架線点検

また、週末には東京上空ヘリコプター遊覧飛行を行っています。レインボーブリッジ、東京タワー、新宿副都心、六本木ヒルズ等、話題のスポットを空から眺めるのは気分爽快です！ご家族で一度体験してみたいかがでしょうか。

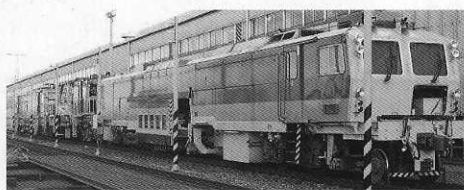
## 線路をリフレッシュする縁の下の力持ち 日本機械保線(株)

線路は列車の走行によりゆがみが生じたり、レール表面が傷んだりします。そこで、縁の下の力持ち「日本機械保線(NKH)」の出番です。

当社は、大きな保線用機械を用いて線路のゆがみを直したり、古く傷んだレールを取り替えるために新しいレールを運んだり、傷んだレール表面にグラインダーをかけてリフレッシュさせたりしています。

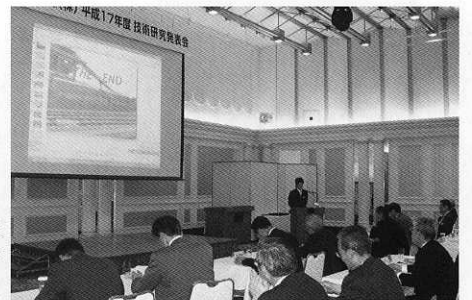
また、皆様ご存知の線路のお医者さん「ドクターイエロー」等による線路のゆがみ測定、保線用機械の検査・修繕、さらに最近では新しい新幹線用道床交換機(NBS)の製作まで、JR東海の保線関係業務を幅広く実施しています。

創業は昭和42年と古く、現在の社員数は出向者を含めて約500名ですが、年々若返りが進んでおり、たいへん活気



▲線路のゆがみを直す保線用機械

のある会社です。最近では、社員研修・技術研究活動・小集団活動にも力を入れています。



▲「技術研究発表会」の様子

「誇りと責任を！」をキーワードに、品質のよい成果物を無事故・無災害で提供し、安全で安定した快速輸送の確保に貢献するため、社員一丸となって取り組んでいます。



▲線路のお医者さん「ドクターイエロー」



▲保線用機械の検査・修繕作業の様子

2005年秋

いつでも誰でも  
気軽に参加できる

# さわやか ウォーキング

参加費無料  
一部のコースを除く

予約不要  
一部のコースを除く

駅がスタート!  
一部のコースを除く

12/18日までの  
土・日・祝開催



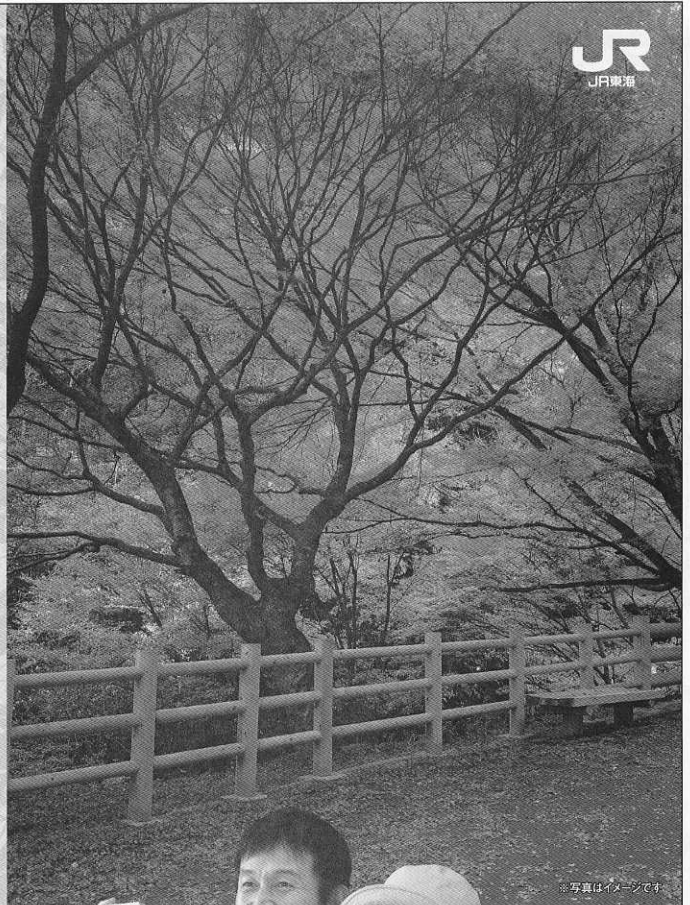
名古屋・飯田地区

12/4日まで



静岡地区

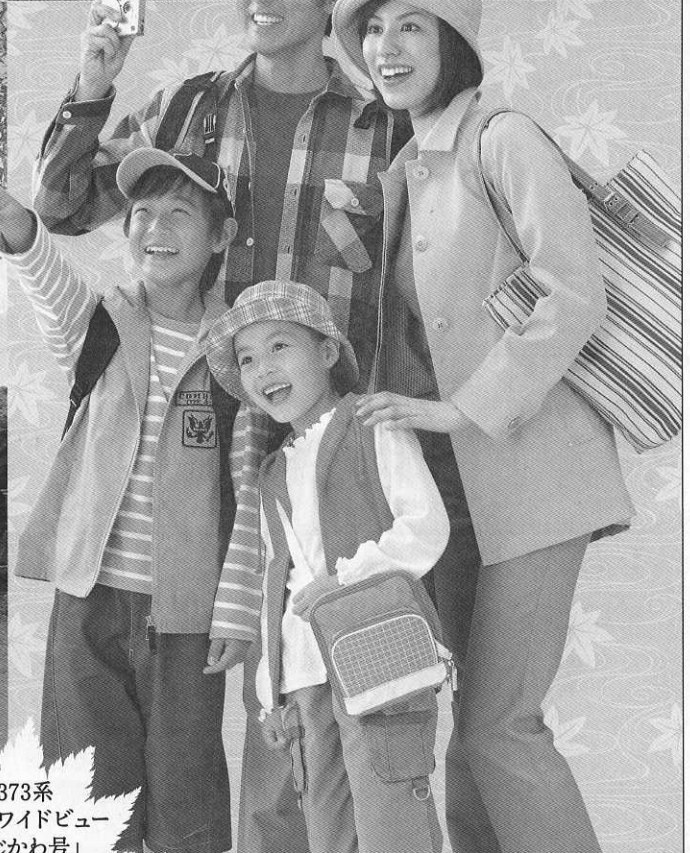
12/18日まで



写真はイメージです



写真はイメージです



大好評  
キッズ  
ウォーキング  
開催



神宮  
125社めぐり  
「秋の伊勢  
ウォーキング」



373系  
「特急ワイドビュー  
ふじかわ号」  
10周年記念品  
プレゼント



さわやかウォーキングに、便利でお得なきっぷ。

名古屋地区

「青空フリーパス」  
「青空ワイドフリーパス」

静岡地区

「休日乗り放題きっぷ」



## 読者のひろば

## 旅は汽車で

垂井支部 渡邊成子（七十才）

私は、昭和三十年四月に主人と結婚しました。主人二十七歳、私は二十歳だった。熱海・伊東へ二泊三日の新婚旅行に出る。

その朝自宅から垂井駅までは愛用の原動機付自転車の後部座席に私を乗せての出発である。なんだか四キロの距離は不安を感じる。垂井駅から稲沢を通過する時、「ここが操車場なんだよ」私には初耳。ああそうだ。新垂井駅に乗りしたつもりが、赤坂駅に乗りしたこともあり、私の失態を思い出す。名古屋までは普通列車、名古屋から熱海までは急行列車を利用したかに記憶している。

丹那トンネルに入る。蒸暑くなり、上着を脱いだ。およそ半日以上の上乗車はやや足と肩が硬直気味。主人は稲沢駅に勤務しているので、時刻表の事は詳しいから私はお任せ。

予約してくれた旅館に向かう途中には、「お宮の松」が見えてくる。「貫一お宮の二人ずれ。…」歌を思い出す。でも鑑賞するほどの関心はない。

山里に住んでいる私は、海とか海岸が目の中に入ると、うれしいもので、潮の香りをうんと吸ってみたいくなる。

松浅館の玄関内で主人が「靴やスリッパは、きちんと揃えなくてもいいんだよ、行儀よくしとると、新婚さんにみられて、つけこまれるでね。」

奥さんらしく振舞ってみたいのに、なんて変わった人だなあ。瞬時の指図にとまどった。お見合いして六ヶ月のお付き合いでは、彼を知る由もない。兄

と姉はそれぞれ他家で居住しており、末っ子（二女）の私がこの家を継ぐ事になっていった。夜のお見合い

つて、ちょっと不思議な予感がする。主人の夜勤アケを利用しての事だった。勿論仲人さんの紹介によってだから、自然の成り行きともいえよう。父が「速くお婿さんをもらわなアカン。わしはもう七十歳になるから急ぐんや」と。保母になって一年後、私の運命が開かれようとしている。了解する。六ヶ月の中で時間の有す限り私達は文通する。主人はペン習字を習っていたさうだから、美しい文字の草書的、文章の組み立ても上手である。私は下手な文と文字で恥ずかしい。そんな中、名古屋の映画館（「ローマの休日」外）まで連れて行ってくれるのも殊の外うれしかった。「じゃ、なれなれしい友達にしておきましょうね」それからの旅館内での気楽な振る舞いと、会話する私は演技しているみたいで滑稽だった。「夜勤アケ等にはグループで、めしを炊いていたので何でも食べるよ」と言ってくれた。伊東温泉も景勝地、ザーと押し寄せる波しぶきは心を癒してくれそうである。長旅の汽車はお客でいっぱい。人混み列車と言う感覚が今も私の脳裏を駆けめぐっている。昨年主人の十三回忌法要を勤め、皆様に感謝を申し上げながら健康を願う私である。

## 私と水墨画

三河支部 西田正人

パーキンソン病という思ってもいなかった病にかかり、だんだん衰えていく体調を残念に思いつつ、せめて自分で歩行が出来る日々を、充実した生き甲斐のある毎日にしようと、頑張っている今日このごろ

です。

懐かしい人々の名前を見つけて、自分自身の元気だった頃のことどもを、嬉しく懐かしく思いおこして励みにしています。

現役時代から好きだった絵画制作が私にとっては、生き甲斐として作品を積み上げています。四年程になりますが水墨画に強い興味をいただき、水墨画のもつ奥行きと深さに情熱をかけ、毎日制作に励んでいます。

毎月入選して「趣味の水墨画」の誌上コンクールに自分の名前を見出した時は、嬉しいもので、いつまで元気でいられるかわかりませんが、人生を水墨画で充実した日々として行きたいと考えています。

私と同じような考えでいられる人が見えたら、是非ご一報いただけたらと思っています。楽しい制作のよろこびにひたって、人生をすこして行きたく思っています。

## 妻の介護生活二十八年と第二のマラソン人生

名古屋機関区支部 藤枝和夫

終戦の年、鉄道学校を卒業と同時に稲沢機関区に就職しました私は、十三年目には憧れの機関士に登用され、所帯を持ち一姫・二太郎に恵まれて、将来への夢とささやかな幸せの日々を送っていました。「人生いろいろ」と申しますが、そんな平凡な私達家族に、妻が突然の難病に罹病したのは、国鉄生活三十二年目の一九七七年・四十八才の時でした。

翌年、頸椎の権威の博士から、一縷の希みに賭けようとお話に縋って、頸椎腫瘍摘出手術を受けましたが、リハビリの甲斐もなく、徐々に手足が不自由になり、寝たきり生活を余儀なくされました。幸い言葉が話せ意思の疎通を欠きませんでした。娘や息子も短大や大学に通いつつ、よく面倒を看てくれましたが、娘が嫁いでは、夜勤に配慮して国鉄共済病院にもお世話になりました。

息子が大学を卒業し就職するのを機会に、自宅で介

護する決心をしました。国鉄は、先輩の背中に学ぶ私の人生の道場でした。

一九八四年、不安の内に第二の人生に旅立ちました。妻の介護を一日の中心におき、小さな下宿と家事に戸惑いましたが、身に付けた不屈の精神のお陰で、体重も戻り医師の勧めでジョギングをはじめたのが、マラソンをするきっかけになりました。

介護の要諦は、一に体力、二に思いやり、三に忍耐と心得た私は、妻を車に寝かせて車椅子を乗せハーフマラソンに参加しました。

妻を家に閉じこめておくより、出掛けることで風光明媚なところで、見知らぬ人の思いもかけない人情にふれ、一寸した会話にも目を輝かせる姿をみて、私は苦勞のかけ通しの妻に少しでも償いたく、ゴールめざして懸命に完走しました。

そこには、何時もボランティアの方と一諸に車椅子で応援する妻の姿がありました。夫唱婦隨で始めたマラソンも、一九九七年の鹿児島県指宿市で、無事全国走破を達成しました。

五十八歳からの十二年間で二百を超えるレースに挑戦しました。こうなるとポツポツの精神が頭をもたげてきます。介護制度が整備されて来た頃「父さん、海外のレースにも挑戦してみては。写真と沢山の土産話を聞けるのが楽しみで待っているから」と言います。

子供達に相談すると、父さんの頑張りには、私達や孫の誇りで、素晴らしい嫉になるからと後押しします。初めは後髪の引かれる思いでしたが、ホノルル・NY・LA・ローザンヌ・北京・ゴールドコーストと参加する内に、夢は大きく五大陸制覇に広がり、今までに内外で受賞したメダルは、妻と家族の大切な宝物となりました。写真やメダルを見ながら思い出話を何度も語り合うのは、私達夫婦にとって至福のひと時です。七十六歳になる最近、夜中に三度妻の床ずれを気遣いながら、ジムでのトレーニングを続けています。機関車の蒸気音は快調で、五大陸行きの「出発進行！ヨシ」の指差し確認の夢を見続けています。

## ある思い出

岐阜支部 奥村元士（八十三才）

昭和三十四年に美濃太田駅へ営業担当として転勤した僕は、高山本線は随分閑散な駅のイメージで着任したがこれが大間違いであった。あのライン下り乗船場への観光客がワンサと下車する駅なのである。国鉄周遊券の指定コースになったのが昭和三十一年で、以来全国からの観光客が年間三十万人を越す盛況ぶりである。

特に、下呂からの入り込みが十時三十分と十二時二十五分着の両列車が、ほとんど連日満員で、八月を頂点に観光シーズンともなれば二〇〇パーセントの日が珍しくない。ホームも狭く跨線橋への上り階段が片方しかなく、ホームは大混雑となる。押し合いへし合いで危険極まりない。上り階段を両方にして少しでも緩和策を講じたらと駅長以下念願していた。上局に上申書も提出しているがどうも手ぬるい。駅幹部協議の結果、二ヶ月位あとに当地で現場長会議があることに決定している。管理局長以下局幹部も出席される。この実状を知ってもらうに絶好のチャンスである。

大混雑の時間帯は限られているので、実状検分は困難である。では視覚に訴える方法として八ミリ映画は如何なるものであろうか。幸い観光船の社長である市会議員のS氏が撮影機を持っている。借用して撮影しようということに一決した。簡単に借用できしたが、僕が撮るにしても全くの素人で、取扱方を詳細に教えてもらったものの自信などあるはずがない。

シナリオもなく、単純に列車の到着、ホーム、上り階段、跨線橋上、出口など順を追って撮ってはみたが、どの程度に写っているのか不安一ぱいであった。兎に角現像に出して日ならずしてフィルムが返ってきた。まあどうにか写っているし、実写だけにそれなりの迫力があると少々自信が湧いてきた。

いよいよ現場長会議当日である。会議終了後駅長

の申し入れて、この八ミリ映画を僕が上映することになった。もつとも映画といつてもタイトルもなし、編集もしないモノクロの無声ときているから、随分乱暴な映画である。駅長の説明付きだが、見ていた各現場長はニヤニヤしながら、「この駅長なかなかやるわい」といった風情に見えたが、局長以下局幹部には、これまでにして訴える熱意は多少とも通じたのではないかと結果を期待した。

その後、上局からこの件について詳細な問い合わせが来るようになり、駅側の熱意がかなり浸透しているらしい気配が感じられた。

しかし僕はこの結果を見ることなく、転勤してしまった。やや気掛りだったが一年ほどあとに下呂への出張の折、立派に階段が両方になってるのを確認した。駅の熱意が見事に結実したのであり、八ミリ映画の効果もきつとあったに違いない。僕は心の中で快哉を叫ばずにはいられなかった。

## D52の戦後六十年

沼津支部 小松亀雄

西欧諸国より大分おくれて、一八七二年（明治五年）に開業となった我が国の鉄道は、文明開化の運び役といわれて維新の人々に歓迎されていました。その後も鉄道敷設法や鉄道国有法などで全国に鉄道網を広め、当時の陸上輸送を一手に引き受ける勢いとなりました。輸送体制も順次整備されて、昭和十年代には弾丸列車の起工式を挙行し、列強に追いつくまでの力をつけてきました。

しかし、悪夢のような第二次世界大戦が始まり、敗色濃くなった昭和十八年には、官庁・工場・人口の疎開方針が決定し、旅客列車の大縮減が行われて貨物列車の増強が図られました。このとき貨物用大型蒸気機関車D52型が、戦時設計で製造を始めたのです。戦況は悪化して、当時複線だった御殿場線は一線取り外されて単線とされてしまいました。更



に十九年には急行列車の大削減、1等車・食堂車・寝台車の全廃、大都市の学童疎開・100km以上の旅行証明等と惨めな状態となりました。

D52の生産は進み、主要幹線に配置されて銃後の輸送、本土決戦の備えとなりましたが、当時の日本はすでに制空権や制海権も無にひとしく、大都市は勿論、地方都市も次々に爆撃を受けて焼け野原の状態です。鉄道の列車も米軍機による爆撃や機銃掃射の標的にされてしまったのです。沼津を出発した貨物列車が米軍機に爆撃され、直撃は避けられましたが数メートル先の線路が吹っ飛び、爆発口に蒸気機関車の前頭が突っ込んでしまったことや、山北駅手前のトンネル出口で米軍艦載機の機銃攻撃を受けて機関士が腹部貫通の重傷を負い、翌日貴い一命を失ってしまいました。平和な職場が戦場に巻き込まれて悪戦苦闘の末、ようやく終戦を迎えたのです。しかし輸送戦は終わりませんでした。益々悪化する石炭事情の中で、低カロリーの石炭を焚きながら一生懸命、戦災の復興物資・産業復興機材・生活物資・復員輸送等が続けられたのです。

戦後の復興は徐々に進み、経済の回復も見え始めた頃、機関車の近代化が始まりました。煙を吐く蒸気機関車に代って、電気機関車やディーゼル機関車が交代し、蒸気は順次その職場を譲って、最後は北海道でその任務を終わったのです。この時が蒸気機関車時代の一世に幕が降ろされた時でD52型は最終ランナーだったのです。幸いに昭和四十八年に沼津市高沢公園に保存されたD52・136号は稲沢・姫路・五稜郭と順次その勤めを終わり、本年六十歳を越えました。皆様に見守られて戦中・戦後の疲れを癒しております。蒸気機関車のルーツを探って、後世に伝えて頂きたいと思えます。

短歌

ゆったりとのんびり妻と暮らす日々

八十路すぎたる余生のどかに

五大陸制覇を果たしブラジルの

アマゾンで釣るピラニアの味

身延支部

深沢 満

台湾の南の海に魚雷受け

友永遠に鎮みてをりぬ

四つある夏帽のうち地味な色

取りて無意識頭に乗せし

浜松支部

原 哲

モンゴルに国技の相撲奪われし

国技の相撲戻すは誰か

ステレオのポリウムあげて「伊豆の宿」

しみじみと聴く午後のひととき

沼津支部

山田寿男

俳句

蓮咲いて凡夫で過ごす日々なりし

先ず瓜を納めて蟹の穴に入る

豆の飯なれば一葉それでよし

津支部

濱口義徳

夕ざくら雨にけぶりて無言の歩

天領の山より雫れし植田かな

早稲の香や影を曳きゆく試歩の秋

尾北支部

岸 峯子

夫と云う駅は今なし盆の月

転生の夫にあらずや遠暁

睡蓮の一朵に微笑仏陀かな

津支部

落合登代子

このうえになおふりつづく二日町

大中は雪洞のなか駅ひとつ

雪征矢を貫らぬきて飛ぶ里がらす

三河支部

西田正人

草笛や喜寿の集ひを待たず逝く  
喜寿の貌そるひ老舗の夏座敷  
車椅子寄せてばらの香たしかめり

津支部 中村宮子

桜しべ降る参道の雨あがり

落花浴び歩幅は小さくなりけり

漕ぎ出でし湖心に映ゆる春の雲

浜松東支部

大倉照二

九天落つ瀑布轟き美酒一献

夕焼や湯上り肌に風やさし

酒断ちて老いの身と知る秋時雨

名古屋臨港支部

伊藤鈴登

エコロジー知らず灯を消す生身魂

炎天下ベットポトルや命綱

空梅雨やクールビズてふ大流行る

浜松東支部

花井光司

川柳

だまされておこう女の下手な嘘

洗髪湯の湯加減銭の取れる腕

美濃太田支部

三鳥次朗

冗談を言い合う友で平和なり

一生の付き合い医者もあてにする

沼津支部

山田寿男

大合併湖もお山もおらが街

井の蛙視野を拡げてジャンプする

浜松東支部

花井光司

絶妙の頓知茶の間の風和む

葱刻むリズムナツメロ聞きながら

大府支部

藤井義雄

断ち切った筈の絆に縛られる

空洞を確かめてから寄る大樹

岐阜工事局支部

弓桁英二



# 駅探訪

## 中央本線 かすがい 春日井駅

●開業/昭和2年12月16日  
●所在地/愛知県春日井市上条町1丁目



名古屋から快速電車で約20分、名古屋市北部を横断する矢田川、庄内川を渡り、右手に高い煙突が見える程なくして春日井に到着。かつては「鳥居松駅」として親しまれ、昭和18年に鳥居松・勝川・鷹来・篠木の4カ町村が合併し春日井市が誕生、昭和21年に現在の駅名に変更された。

春日井市は人口29万余りの都市で、名古屋市、岐阜県に隣接ベッドタウンとして宅地化が進み、人口は増加の一途をたどっている。郊外には緑も多く残り、ぶどうや桃の果樹園を目にすることができる。盛んな農業のなか特筆すべきはサボテンの栽培で、生産量は日本一、全国の80%を占めている。

また、平安時代の三跡の一人、小野道風がこの地で生まれたと伝えられ、「書のまち」とも呼ばれる。人々は古くから「とうふうさん」と呼んで親しみ、書道の盛んな土地柄となった。全国でも数少ない書道専門美術館「道風記念館」では、書道文化を大いに堪能できるであろう。

10月中旬、全市を挙げて「春日井まつり」が盛大に催される。地域の商店らによる「感謝市」が軒を並べ、様々なイベントが行われる。なかでも総勢130余人が練り歩く「道風平安朝行列」は華麗で見てたえがある。

### 「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領

#### 支部及び会員からの寄稿

##### 1 「支部だより」

支部総会、増収協力旅行、清掃美化活動、事故防止運動、会員交流会等支部からの「たより」を随時受付いたします。テーマ、内容等は自由ですが、八百字以内を目途に要領よくまとめ、執筆者氏名を明記してください。なお、活動の状況がわかる写真があれば、一枚添えて下さい。

##### 2 「読者のひろば」

会員からの「情報、体験談等」の寄稿を随時受付しています。テーマ、内容等は自由ですが、千二百字以内を目途に、挿絵、写真等の掲載希望はいずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名、住所、電話番号を明記して下さい。

##### 3 「短歌、俳句及び川柳」

会員から「短歌、俳句及び川柳」の募集をしています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は三句、川柳は二句以内に限ります。記入の際に、冠部に「短歌」「俳句」「川柳」と朱書して下さい。応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名（フリガナを付し、本名も記入する）、及び住所、電話番号を明記して下さい。

##### 4 「表紙写真」

会報誌の表紙に使用する写真を十月号から募集いたしております。残念ながら十月号の応募はありませんでした。OB諸兄の中ではカメラに詳しい方が相当数おられると情報がありますので残念でした。来年の正月号以降期待してお待ちしております。それぞれの会報誌発行時季にあったものを希望します。カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ（解像度A4サイズで三〇〇DPI以上）送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。

なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。

また、お送りいただきましたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体については、後日お返しいたします。

##### 5 寄稿及び投稿先

〒四五〇〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅 三十三三十二  
キヨスク名駅ビル内  
東海鉄道OB会・会報編集係宛

〔注〕寄稿または投稿された作品等は、順次会報に掲載いたしますが、応募状況や誌面の都合等により、掲載が遅れる場合があります。

なお、寄稿または投稿された原稿は返却いたしません。

### 編集後記

会報第二号（十月号）の編集と今後の投稿等の依頼

東海鉄道OB会の総会は年度当初に開催し、それから各地方本部、各支部の総会開催へとつながるが本来ですが、本年は四月に組織改編に伴う東海鉄道OB会が発足したばかりで、既に各支部では総会が始まり本部の総会開催の時期を失し、九月十一日に東海鉄道OB会初めての総会を開催し、併せて東海鉄道OB会最初の会長表彰式を開催することにして、その詳細な内容を会報第三号（十月号）の最初に記載し、ついで各地方本部の総会を紹介しました。

ついで、東海鉄道OB会報七月発行の第二号にて、今後の会報編集についてより多くの会員皆様に参加していただき「会員で作る会報」として充実したいとお願いしたところ、多くの投稿をいただき、ご紹介することができ有難うございました。

なお、会報誌の表紙に使用する写真を十月号から募集いたしました。残念ながら応募がありませんでした。遠慮なさらずに来年の正月号には期待しております。ぜひ応募をお待ちしております。詳細は、この頁の投稿要領に記載しております。

- 1 支部のOB会活動の紹介は、藤枝支部の会員増強を主な記事にした活動状況を紹介いたしました。次回は伊勢支部の活動状況をお知らせ予定です。
- 2 短歌、俳句、川柳については会員皆様からの幅広い応募を期待しております。
- 3 会報誌編集についてのご意見、ご要望等遠慮なく是非お寄せいただくようお願いいたします。

（杉浦）

発行 四五〇〇〇〇二  
名古屋市中村区名駅 三丁目三十一  
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部  
発行人 杉浦 定行  
電話 〇五二一五六二一六〇八〇（FAX兼用）